

2025 年度 地域地理学会大会 シンポジウム

瀬戸内国際芸術祭が地域にもたらす変化と地理学的視点の検討

〔趣旨〕

交通網やインターネットなどのインフラの変化で、人と土地とが乖離していくフェーズにありますが、人間が肉体を有する以上人と土地が完全に切れることは不可能です。これからの社会を考えていくうえで、「人にとっての地域」「地域にとっての人」という両側面から地理学は積み上げた知見を活かしながら未来を創造することが使命かと思います。

瀬戸芸の島々は繁栄から衰退・没落へと進んできた明治以降の歴史を反転させ、あらたな社会へのチャレンジが行われています。瀬戸芸によってもたらされたチャンスと、瀬戸芸によってもたらされたリスクの中で、「アートにとっての地域」「地域にとってのアート」という関係はアートを媒体としていま新しい価値をもつ未来像を生み出す過程ともいえるかと思います。

本シンポジウムでは、政治的な問題等には立ち入らず、あくまで学問的（地理的な）立場から現状を把握して、学問がどのように貢献できるのかを、例えば、「島の外からの論理をどう受け入れたのか？」「島嶼部と都市のアートプロジェクトの比較」「日本の問題として、地域のこれからはどうしていけばいいのか？」研究として地理学はどのような貢献ができるのか？」などを考えていきたいと思っています。